



●発行月 令和4年1月  
 ●発行 岩手県立中央病院 地域医療福祉連携室 〒020-0066 盛岡市上田1-4-1 TEL 019-653-1151 (代)  
 ●URL <https://chuo-hp.jp/>

### 「地域医療連携推進の基本方針」

- |                         |                            |
|-------------------------|----------------------------|
| 1. 顔の見える連携              | 5. 24時間救急受け入れ体制            |
| 2. 地域連携パスと逆紹介の推進        | 6. 地域医療福祉連携室を通じた地域包括型連携の推進 |
| 3. 紹介患者の迅速予約と優先診療       | 7. 高額医療機器の共同利用推進           |
| 4. PHSによるDr.Direct Call | 8. 地域医療研修センターの利用の推進        |

## 脳神経外科のご紹介

脳神経外科長 木村 尚人

日頃から患者様のご紹介、フォロー等、ご指導ありがとうございます。

岩手県立中央病院 脳神経外科のご紹介をいたします。現在5名のスタッフで患者さんの治療に当たっております。昨年度は新型コロナの影響で若干の手術件数の減少がありましたが、ここ数年は年間650件から700件の手術を行っております。この件数は東北内でも有数の件数となっております。日頃からの皆様との連携の成果でこの件数となっていることを改めて感謝申し上げます。

脳外科疾患は脳卒中、脳腫瘍、機能的脳神経外科に大別されます。脳卒中には出血して発症する脳出血、くも膜下出血、血管が詰まってしまう脳梗塞に大別されます。脳卒中は急変する場合もあり入院中は目の離せない疾患です。当院では県内初の脳卒中ケアユニット（SCU）を整備しております。集中治療室型の脳卒中専門病棟であり、専用の設備、看護師、リハビリスタッフを有しております。ICUやHCUとあわせて緊急入院となった急性期脳卒中の集約的治療が可能な体制となっております。

脳卒中の手術は年々、低侵襲化が進んでおり、昨年度の手術の半分強はカテーテルを用いて切らずに治す血管内治療でした。300件を超えるカテーテル治療は脳神経外科単体で行うことは難しいので、実際は脳神経センターとして脳神経内科と共同して治療を行っております。

脳動脈瘤に対するコイル塞栓術、脳梗塞に対する血栓回収療法は全国有数の手術件数を誇っております。血栓回収療法は患者さんが救急車で来院してから1時間以内に治療を開始することをチームとしての目標としており24時間365日必ず専門医が治療に携われるようにしております。また、脳内出血も低侵襲手術の対象となってお

り、脳の中の血腫を取る手術の半数以上が内視鏡で行われるようになりました。

内視鏡手術は異常なホルモンを産生する下垂体腺腫のように脳の奥にある腫瘍に対しても有用です。手術前後は繊細なホルモンバランスや血糖のコントロールが必要であり、糖尿病・内分泌内科の先生方と協力して内科的/外科的な両面をきめ細やかにケアしております。

内視鏡手術は昨年度30件、今年度は11月末時点で40件を超えており、ますます増えていくものと考えております。低侵襲の治療を心がけておりますが、従来通りの治療を選択した方が患者さんのリスクが低いときも多くあります。専門性の高い治療を提供するために生涯学習も心がけております。脳神経外科の指導医はもちろんのこと脳卒中の外科の技術指導医/認定医、血管内治療指導医/専門医、内視鏡技術認定医、脳卒中指導医、リハビリ専門医と治療に必要な学会認定の専門医/指導医をチームとしてくまなく取得しております。

今後とも岩手県民の健康を守るべく精進して参りますのでよろしくお願いいたします。



NEW

# 新ユニフォームのご紹介

令和3年12月1日より当院のスタッフユニフォームが一新されました。  
職種ごとに色違いのラインが入ったデザインとなっておりますのでご紹介いたします。



日勤帯



夜勤帯



看護部

看護部は、右の写真のとおり勤務時間帯により2種類を使い分けております。



薬剤師



検査技師



PT・OT・ST



管理栄養士



医療社会事業士



公認心理師  
臨床心理士



歯科衛生士



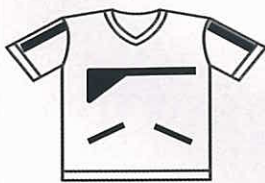
視能訓練士



看護補助



各部門補助



放射線技師



臨床工学技士

全体的に白い部分が増え、  
病院全体の印象が明るく  
なったように感じます!

ベースが同じになったことにより、  
一体感が出たように見えます!



# 第5回岩手県立中央病院 地域医療福祉連携協議会

当院は地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携推進のため、例年、連携登録医の先生方を当院にお招きし「岩手県立中央病院地域医療連携協議会」を開催しております。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とさせていただきましたが、今年度は、会場面積に合わせた参加者数の制限、会場内の消毒等感染症対策を講じた上で令和3年11月22日に開催させていただきました。

協議会の内容は、当院の活動についての講演として、①COVID-19に係る当院の取り組みについて ②急性肺炎・尿路感染症地域連携パスについて ③TAVIについて ④アンガーマネジメントについての4題を講演いたしました。今後の協議会の内容について、ご参加いただいた皆様へアンケートを実施した結果、今後も講演を希望するとのご意見を多くいただきました。



また、日頃より当院との連携にご協力いただきありがとうございます登録医療機関の皆さまへの感謝の意を表し、感謝状を贈呈させていただきました。本来、ご来訪いただいた皆様に直接お渡しするべきですが、時間の関係上、例年、代表施設様への贈呈とさせていただいており、今年度は、いわてリハビリテーションセンター様、東八幡平病院様、盛岡観山荘病院様の3施設様にご登壇いただきました。なお、連携登録医の所属する医療機関様には、後日、感謝状を郵送させていただきました。

当日はお忙しい中、多くの連携登録医の先生方にご参加いただけましたこと、深く感謝申し上げます。今後とも、地域医療の充実と発展を図るため、より一層励んでまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

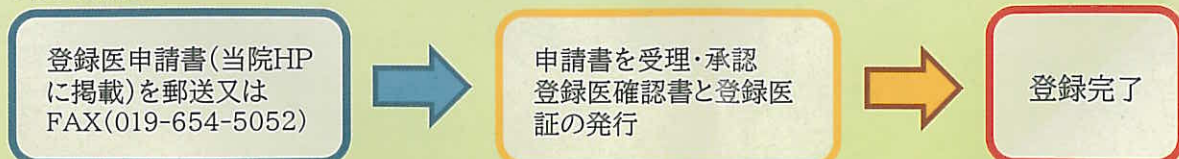


## 連携登録医募集

### ○岩手県立中央病院連携登録医とは

地域医療支援病院が保持するべき要件の一つ。「開放型病床」、「施設・設備等の共同利用」を円滑に推進するための「岩手県立中央病院連携登録医要綱」に基づき、地域の医療機関の医師等の申請を受け、病院長が「連携登録医」として承認する。(令和3年9月現在、盛岡医療圏の医師/歯科医師339名が登録)

### ○申込み方法



### ○お問い合わせ先・申請書送付先

岩手県立中央病院地域医療福祉連携室  
〒020-0066 盛岡市上田一丁目4番1号  
TEL 019-653-1151(内線2177) FAX 019-654-5052

## 地域医療福祉連携室

## ～入院支援看護師のご紹介～

### 吉田 美恵

10月から入退院支援センターで働かせていただいています。まだまだ勉強中のところではありますが、精一杯頑張りますので宜しくお願いします。



### 廣田 勝

入院に向けた不安を解消し、入院医療に臨めるように支援させていただいております。どうぞ宜しくお願いします。



### 岡田 千枝

入院をする際の支援をしています。漠然とした不安・疑問等もお話ください。共に考えたり必要な部門につなぎます。元の生活に戻れるように、ぜひ病院の廊下を歩きましょう。

### 姉吉 絵里香

入院決定した患者様が入院生活やどのような治療経過を経るのかイメージでき、準備したうえで入院に臨めるようサポートいたします。どうぞよろしくお願いたします。

患者さんと各部門とを私たちがつなぎます。



## 医療相談室

## ～医療ソーシャルワーカーのご紹介～

### 大下 美奈

患者さん、ご家族の語りを大切に、院内・地域の関係機関の皆様と連携し支援いたします。いつでもご相談ください。

### 佐藤 真紀子

患者さん、ご家族が地域で安心して過ごせるよう力になりたいと考えています。いつでもご相談ください。

### 渡邊 純子

疾病を契機とする生活課題・就労両立等、社会福祉の視点で相談対応、権利擁護、連携いたします。



### 庄司 菜月

患者さん、ご家族が安心して治療に向き合えるよう、相談室の立場からお手伝いさせていただきます。いつでもお気軽にご相談ください。

### 小林 実祝

患者さん、ご家族の多様な背景をとらえながら、院内スタッフや地域と連携し、安心した生活が送れるようお手伝いさせていただきます。

私たちが相談者と共に解決に導きます。

